

2011年度見通しと 中期経営計画VISION80(2012-2013年度)

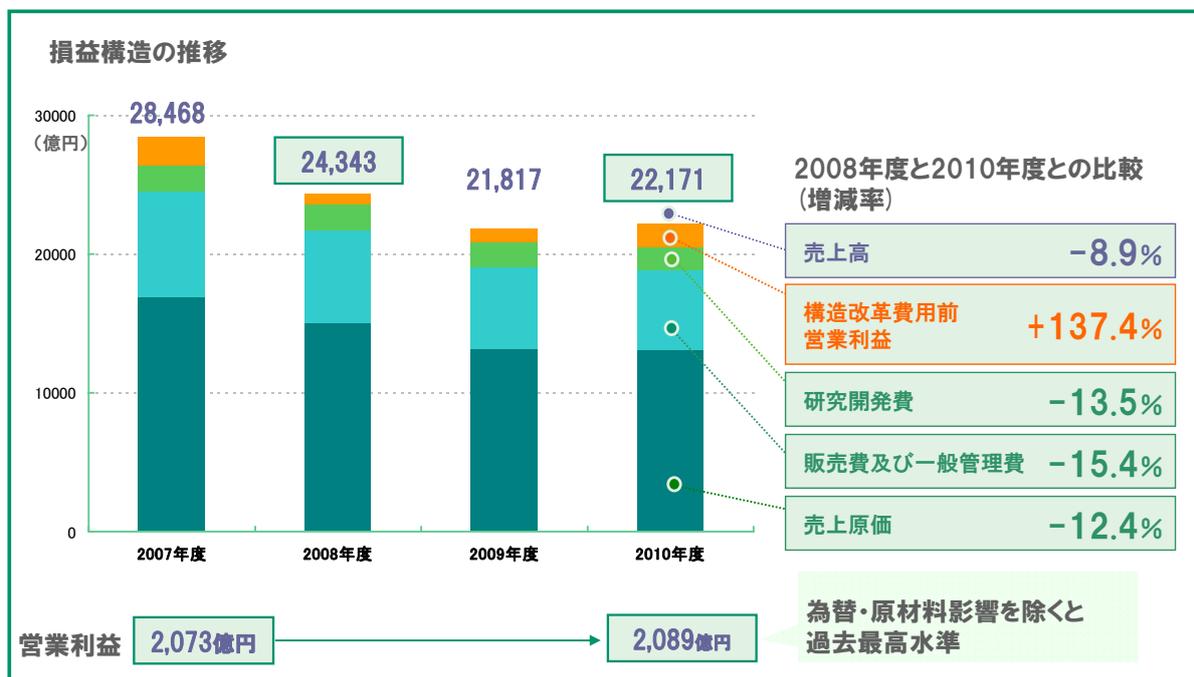
富士フイルムホールディングス株式会社
代表取締役社長・CEO 古森重隆

2011年10月31日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

構造改革の完遂

2009年度～2010年度 筋肉質な企業体質を構築



(単位:億円)

	2011年度 予想(7月29日)		2011年度 最新予想		対前回公表		2010年度 実績	
					金額	%		
売上高	100.0%	23,400	100.0%	22,900	-500	-2.1	100.0%	22,171
営業利益	6.8%	1,600	6.0%	1,365	-235	-14.7	6.2%	1,364
税金等調整前 当期純利益	6.6%	1,550	4.7%	1,075	-475	-30.6	5.3%	1,171
当社株主帰属 当期純利益	3.4%	800	2.4%	540	-260	-32.5	2.9%	639
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益		166.08円		112.10円		-53.98円		131.30円
1株当たり 年間配当金		35円		35円		-		30円
為替 :米ドル		80円		78円		-2円		86円
:ユーロ		116円		109円		-7円		113円

2007年度の為替・原材料水準では 2,407億円の最高益レベルを確保
 為替感応度(年間/営業利益) 米ドル 11億円 ユーロ 7億円

2

中期経営計画VISION80

2012年度-2013年度

1.重点事業の成長戦略の推進

成長戦略における3つの柱

- ヘルスケア分野での大幅な成長を実現
- 高機能材料分野におけるさらなる事業拡大
- ドキュメント分野でのさらなる成長と収益性の向上

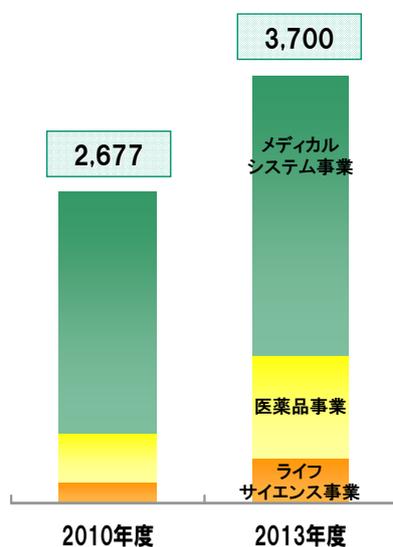
2.グローバル展開の加速

4

ヘルスケア分野での大幅な成長

予防・診断・治療領域をカバーするトータルヘルスケアカンパニーを目指す
2013年度売上目標 3,700億円

■売上高(億円)



メディカルシステム事業

- 材料からネットワーク・機器へ、収益ポートフォリオの転換
- 独自性ある新製品での売上拡大
- 開発費効率化、モノづくり強化による収益性の追求

ライフサイエンス事業

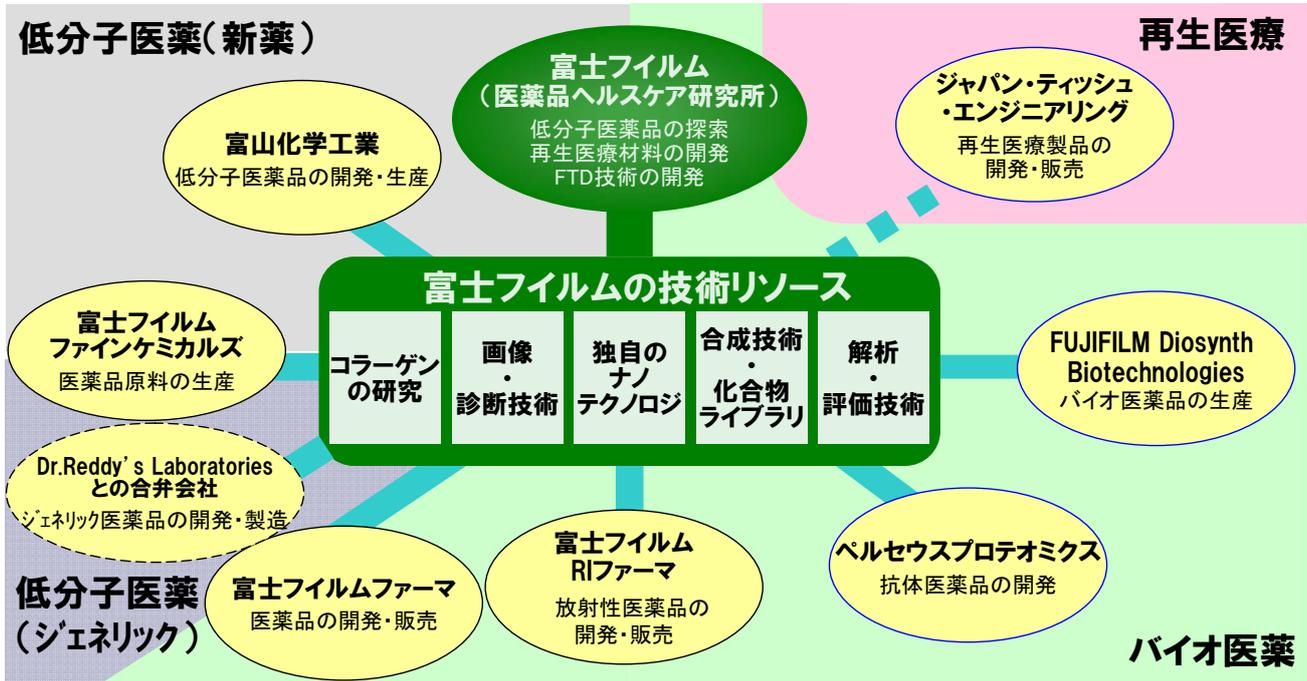
- 商品領域と販売地域拡大による事業規模拡大
- 技術力を活かした特長ある商品投入により、事業領域拡大
- アスタリフトシリーズの海外展開拡大

医薬品事業

- これまで獲得した事業基盤を進化させ、オンリーワンの医薬品事業の実現を目指す

5

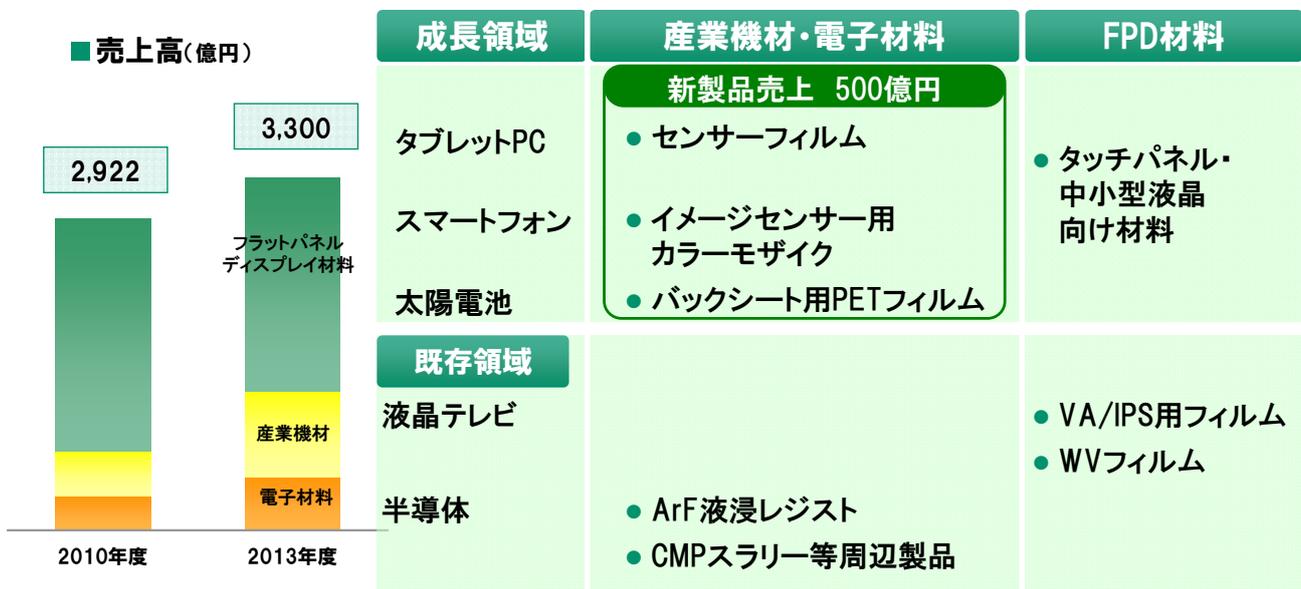
これまで獲得した低分子医薬、バイオ医薬、再生医療、抗体医薬の事業基盤を進化させ、オンリーワンの医薬品事業の実現を目指す



高性能材料事業での事業拡大

2013年度 売上目標 3,300億円
 産業機材・電子材料 新製品売上高 500億円

- 機能性材料の開発力を活かし、高成長する市場向けの新製品を連続して立ち上げる
- 液晶テレビ・モニターなどの既存領域では収益性を確保し、中核事業として成長を継続



成長性と収益性を両立 2013年度売上目標 1兆1,000億円

■ 売上高(億円)



事業戦略

収益基盤を維持・強化しながら、新たな成長事業・地域へのシフトと強化を図る

- 国内では、成長に向けた営業力強化とグローバルサービス拡大やソリューション展開の加速
- 中国・新興国へのリソースシフトによるさらなる成長加速
- グローバルベースでのプロダクション分野での商品競争力の強化と、ローエンド・量販ビジネス拡大の加速

体質強化

収益性と成長の回復に向け、新たな体質への変革を加速する

- 原価改善の継続による強靱なコスト体質の確立
- R&D生産性改善と強化
- 2013年度に営業利益率10%以上を達成

8

デジタルイメージング

電子映像事業

高級機種ライン拡充と販売体制強化により、 売上高を年率10%以上成長させる

- 高級機種「Xシリーズ」のライン拡充
「X100」「X10」に続き、ロングズーム機「X-S1」を年内に発売
最高級ミラーレス一眼システムカメラを来春発売予定
- ワールドワイドでの販売体制強化
アジアでの直販化推進
積極的な広告宣伝活動によるブランド訴求
セールス・アフターサービスの組織強化



9

事業 トピックス

グラフィックシステム

- インクジェットヘッドとインクのコア技術によりデジタルプリンティング市場で売上成長
- 環境に配慮した無処理版材や廃液削減を実現するシステムなどでシェアアップを図る



光学デバイス

- ビジネスの主体を高付加価値のカメラモジュールにシフト



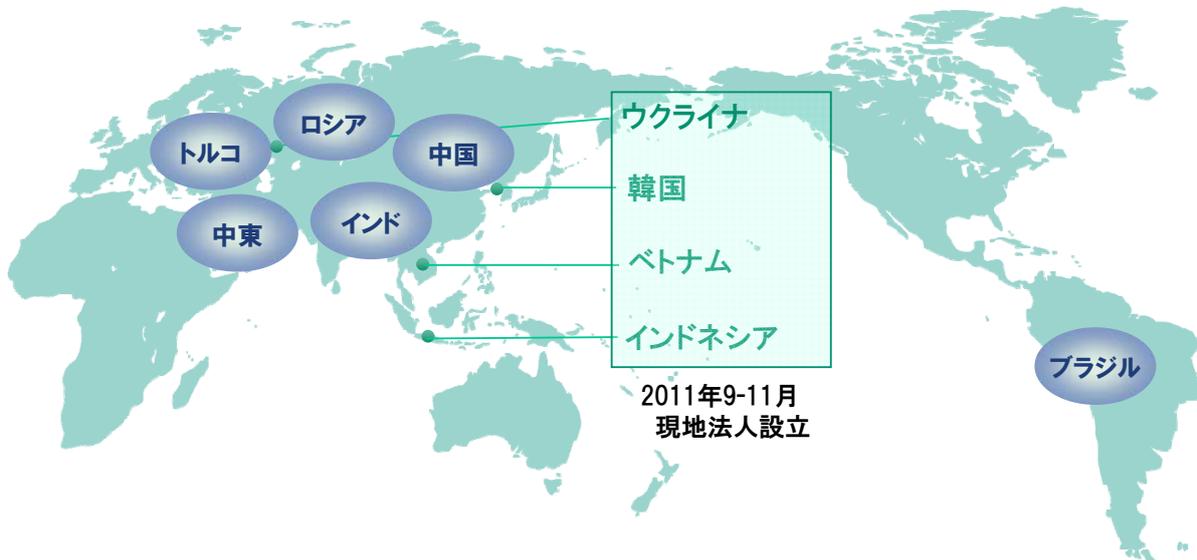
記録メディア

- 世界最大の記録容量を実現したバリウムフェライト磁性体を使用したデータテープ製品による売上拡大

新興国での売上・利益拡大

新規市場開拓への集中投資

現地法人設立による販売体制強化



2011年度～2013年度 合計で約1兆円を積極的に投資

項目	2011～2013年度年間ベース
設備投資	1,000 億円 ～ 1,500億円
M&A投資	500 億円 ～ 1,000億円
研究開発投資	1,500 億円 ～ 2,000億円
合計	3年間で約1兆円規模

12

2013年度に向けた業績・経営目標

	2010年度	2011年度	2013年度
売上高 年平均成長率 4%	22,171億円	22,900億円	25,000億円
	※2007年度の為替・原材料水準で換算した売上高		
	25,319億円	26,558億円	28,960億円
営業利益 利益率 7%	1,364億円	1,365億円	1,800億円
	※2007年度の為替・原材料水準で換算した営業利益		
	2,089億円	2,407億円	2,905億円
株主資本 利益率(ROE) 5%以上	3.7%	3.1%	5%以上
株主還元 配当性向 25%以上	<ul style="list-style-type: none"> ● 配当を重視した還元策を基本 ● キャッシュフローを勘案し、株価推移に応じた機動的自社株買いも検討 		

13